

# 一歩ずつ

## 生活アンケートから見える むかわの子

「電子メディアとの接触時間」・「家庭学習の時間」・「読書の時間」について

むかわ町教育推進委員会では、毎年「児童・生徒の生活実態アンケート」を実施しています。下記は、昨年度までの調査結果から見える3つのデータです。

ア テレビ、ゲーム、インターネット（学習のための時間は除く）について

平日、1日2時間以上「見る、する」割合

むかわ町	R 1	R 2	R 3	R 4
小学生	41.7%	43.1%	48.7%	49.8%
中学生	59.5%	55.5%	70.3%	56.8%

課題：電子メディアに長くふれる学年が、低年齢化しています。

時間の目安  
1日 2時間以内

イ 学習の時間について

平日、家庭学習（学習塾を含む）が1時間未満の割合

むかわ町	R 1	R 2	R 3	R 4
小学5・6年	67.7%	68.8%	46.2%	56.2%
中学1～3年	43.5%	40.1%	45.9%	37.0%

課題：家庭学習の取組に改善傾向がみられますが、まだ不足気味です。

時間の目安  
学年×10分+10分  
小1 20分  
小2 30分  
小3 40分  
小4 50分  
小5 60分  
小6 70分  
中1 80分  
中2 90分  
中3 100分

ウ 読書の時間について

平日、学校以外での読書の時間について  
全く読まない子の割合

むかわ町	R 1	R 2	R 3	R 4
小学生	48.2%	56.6%	57.5%	59.9%
中学生	60.7%	65.2%	61.5%	63.7%

課題：平日、学校以外での読書をしない割合が増加傾向にあります。

時間の目安  
まずは1日10分以上

※時間の目安は、北海道教育委員会の提示による

過去3年間、コロナ禍による外出自粛などの行動制限は、児童生徒の行動に大きな影響を与えたことと思います。また、大人を含めたライフスタイルの変化が近年みられますが、望ましい生活習慣を身につけるため、子どもたちが改善すべきところは多々あると思われます。例えば、「夜〇時以降はスマホを利用させない」「家庭学習は何時から何時までと決める」「子供の成長に合わせた睡眠時間を確保させる」など、家庭でもできることから『一歩ずつ』取り組んでみましょう。

## そのスマホ、大丈夫？

最近、子どもにスマートフォンを持たせている家庭が多くなってきました。出かけ先から連絡をとったり、GPS機能を使って安全を確認したり、スマホの性能に疑いの余地はありません。しかし、その一方でさまざまなトラブルも起きています。個人に関わることを拡散させて裁判沙汰になったり、課金など高額な請求がきたりする事例が起きています。過度な使用は、当然学習面や健康面にも悪影響があります。子どもたちにスマホを持たせている方は、その使い方についてもしっかりと見守ってください。



## アウトメディアに取り組もう

子どもの成長段階において、年齢に応じた体験は大切です。電子メディアを長時間使用することは、結果的に体験する機会を奪ってしまいます。



子どもたちだけでなく、保護者の方もテレビやネットなどの利用を少なくする日を設け、一緒に読書をしたり、家族みんなで出かけたり、地域の行事に参加したりして、「豊かな体験」「自然とのふれあい」「人とのつながり」などをもち、子どもたちの健全な成長に結びつけさせてください。

## 家庭学習で学習内容の定着を ~ ( ^ o ^ ) /

学校で学習したことをもう一度家庭で確認したり、事前に予習したりすることは学習を定着・発展させるのに有効です。毎日継続して取り組むことは習慣となり、学力を向上させるだけでなく、生活習慣が整います。

本町では昨年度より、中学校の定期テストに合わせて、小中学校がともに期間を合わせた家庭学習強化週間を設けています。これは、定期テストに向けて学習している中学生に合わせて、兄弟姉妹や同じ地域の子どもたちはともに学習に向けて普段以上に強化していこうという取組です。ご家庭でもこの期間は、いつも以上に家庭学習に取り組むよう声かけをよろしくお願ひします。



家庭学習に関しては、4月に学校から配られた「家庭学習のてびき」(むかわ町ホームページ：生涯学習課：学校教育グループ掲載)を参考に組み合わせてください。

### 令和5年度の家庭学習強化期間

鷓川地区：6/29~7/4, 11/10~14, 2/16~21

穂別地区：8/18~29, 11/6~19, 2/5~18